



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社メディアフラッグ 上場取引所 東  
 コード番号 6067 URL <http://www.mediaflag.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 康夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 柳澤 幸浩 (TEL) 03 (5464) 8321  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,444	△13.9	124	△29.5	107	△30.3	373	158.5
28年12月期第3四半期	5,165	△8.8	177	236.0	153	539.2	144	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 百万円( ) 28年12月期第3四半期 139百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	76.51	75.30
28年12月期第3四半期	31.50	30.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,483	1,461	41.2
28年12月期	4,395	976	21.5

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 1,436百万円 28年12月期 946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△14.2	250	△19.0	230	△9.6	500	152.5	102.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社、除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期3Q	4,934,197株	28年12月期	4,705,794株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	51,707株	28年12月期	73,206株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期3Q	4,882,490株	28年12月期3Q	4,586,177株

(注)平成29年12月期第3四半期の1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、株式給付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が底堅く推移し、緩やかな回復基調が続いております。一方で一般消費者の消費動向を考えると、商品の購入を検討する際に実店舗に赴いて現物を確かめるが店舗では商品は買わずに結果オンラインショップで購入する「実店舗のショールーミング化」が活発化してきており、また2020年東京オリンピックに向けての店頭活性化や年々増加している訪日観光客(インバウンド)に対しての多言語対応POP等「売場でのインバウンド対策」が目立つようになってきております。

このような経済環境の中、当社グループの主たる事業領域である消費財メーカー向け店頭販促支援サービスを提供しているセールス&プロモーション事業の分野、小売業・サービス業を中心としてCS(顧客満足度向上)や店頭オペレーション改善等の調査プログラムを提供するリサーチ&コンサル事業の分野とも、前期実施大型案件の契約終了の影響で売上前年同期比マイナスとなっておりますが、トップ営業も含めた営業工数の最大化に努めた結果、既存顧客からの受注拡大や新規大型案件の受注が順調に推移しております。とりわけ㈱メディアフラッグとcubic㈱については累計額こそ前年同期比マイナスとなっておりますが、第3四半期で売上高が10%以上伸びており第4四半期以降の案件獲得も好調に推移しております。

またIT系フィールドサービスでの取り組みとしましては、㈱メディアフラッグで構想中の消費者ロコミアプリ「みんなのお店」の要件定義が固まり、アプリケーション開発に着手する段階となっております。㈱impactTVで開発中のフィールドトラッキングシステム「PISTA」につきましては、ハードウェアが既に完成し、ソフトウェアも実際の流通店舗での実証実験に基づいた通行カウント・顔認識の最終チューニング段階となっております。両サービスとも来期初旬リリースを予定しており、現状予定通りの進捗となっております。

なおインド・インドネシア等のアジア地域におきましても、弊社が保有する日本の流通小売業の店頭実現力やチェーン拡大に関するノウハウを基にローカライズすべく、チェーン運営コンサルティング求められる状況が引き続き強く顕在化しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、4,444,775千円(前年同期比13.9%減)、営業利益は124,842千円(前年同期比29.5%減)、経常利益は107,238千円(前年同期比30.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は373,566千円(前年同期比158.5%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

	売上高(千円)	前期比(%)	営業利益(千円)	前期比(%)
セールス&プロモーション事業	3,119,174	△8.6	392,346	△13.6
リサーチ&コンサル事業	596,745	△2.8	195,972	△20.3
ASP事業	35,885	△8.6	30,949	△5.0
和菓子製造販売事業	714,763	△36.4	△10,143	-

セールス&プロモーション事業におきましては、引き続き小型デジタルサイネージの開発・販売を行う㈱impactTVとスポーツマーケティングを行う㈱MPandCが好調に推移し、㈱メディアフラッグ及びcubic㈱については第4四半期以降で寄与予定の新規受注が順調に積み上がっております。当セグメントの売上高は3,119,174千円(前年同期比8.6%減)、セグメント利益は392,346千円(同13.6%減)となりました。

リサーチ&コンサル事業におきましては、大型案件数は減少しているものの中規模案件の受注数は順調に推移しており、覆面調査に加え出口調査やグループインタビュー等も含めた定性調査プログラムの受注も始まっております。海外におきましては、引き続きインド・インドネシア・中国で現地流通小売業向けの本部強化やチェーン拡大コンサルティングを提供してまいりました。当セグメントの売上高は596,745千円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益は195,972千円(同20.3%減)となりました。

ASP事業におきましては、システムカスタマイズ数が減少し、主にストック型アプリケーション(MarketWatcher)が主たる売上となりました。当セグメントの売上高は35,885千円(前年同期比8.6%減)、セグメント利益は30,949千円(同5.0%減)となりました。

和菓子製造販売事業におきましては、㈱十勝たちばなの全株式を譲渡したため当第3四半期連結会計期間より連結から除外しました。この結果第2四半期連結累計期間末と変わらず、売上高は714,763千円(前年同期比36.4%減)、セグメント損失は10,143千円(前年同期は65,970千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ912,291千円減少し、3,483,083千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ112,825千円減少し、2,712,087千円となりました。これは受取手形及び売掛金の減少185,810千円、原材料及び貯蔵品の減少60,523千円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ799,465千円減少し、770,995千円となりました。これは主に有形固定資産の減少984,995千円、のれんの減少52,043千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,397,749千円減少し、2,021,116千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ783,433千円減少し、1,244,063千円となりました。これは主に買掛金の減少153,188千円、短期借入金の減少260,000千円、1年内返済予定の長期借入金の減少176,573千円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ614,315千円減少し、777,053千円となりました。これは長期借入金の減少568,863千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ485,457千円増加し、1,461,966千円となりました。これは主に資本金の増加43,697千円、資本剰余金の増加43,697千円、利益剰余金の増加373,566千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年8月9日公表の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社であった株式会社十勝たちばなは、当社が保有する株式の全てを売却したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。なお、株式の売却日は平成29年8月9日であるため、当第3四半期連結累計期間においては平成29年1月1日から平成29年6月30日までの業績が含まれております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,359,033	1,497,514
受取手形及び売掛金	989,467	803,657
商品及び製品	210,775	166,931
仕掛品	36,035	66,402
原材料及び貯蔵品	63,080	2,557
その他	167,526	175,073
貸倒引当金	△1,004	△49
流動資産合計	2,824,913	2,712,087
固定資産		
有形固定資産	1,068,348	83,353
無形固定資産		
のれん	171,476	119,433
その他	104,796	117,439
無形固定資産合計	276,273	236,872
投資その他の資産	225,839	450,769
固定資産合計	1,570,461	770,995
資産合計	4,395,375	3,483,083
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	188,096	34,907
短期借入金	580,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	700,440	523,867
未払法人税等	67,176	32,940
ポイント引当金	13,862	1,811
その他	477,921	330,537
流動負債合計	2,027,497	1,244,063
固定負債		
長期借入金	1,311,295	742,432
資産除去債務	39,943	26,119
株式給付引当金	31,435	-
その他	8,694	8,501
固定負債合計	1,391,369	777,053
負債合計	3,418,866	2,021,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,566	341,263
資本剰余金	507,961	551,658
利益剰余金	220,880	594,446
自己株式	△80,637	△51,084
株主資本合計	945,770	1,436,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490	46
為替換算調整勘定	△4	△175
その他の包括利益累計額合計	486	△129
新株予約権	14,244	10,200
非支配株主持分	16,008	15,610
純資産合計	976,509	1,461,966
負債純資産合計	4,395,375	3,483,083



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,165,206	4,444,775
売上原価	3,180,580	2,729,763
売上総利益	1,984,625	1,715,011
販売費及び一般管理費	1,807,504	1,590,169
営業利益	177,120	124,842
営業外収益		
受取利息	644	716
受取配当金	17	15
助成金収入	2,312	-
その他	3,697	1,320
営業外収益合計	6,671	2,052
営業外費用		
支払利息	28,392	18,193
その他	1,539	1,463
営業外費用合計	29,932	19,656
経常利益	153,859	107,238
特別利益		
固定資産売却益	10,539	-
事業譲渡益	46,759	-
受取和解金	7,000	41,594
関係会社株式売却益	-	152,621
移転補償金	-	139,439
その他	8,955	38
特別利益合計	73,255	333,693
特別損失		
固定資産除却損	0	-
投資有価証券評価損	761	-
減損損失	20,209	8,127
特別損失合計	20,971	8,127
税金等調整前四半期純利益	206,143	432,803
法人税、住民税及び事業税	55,514	53,152
法人税等調整額	4,523	6,482
法人税等合計	60,037	59,635
四半期純利益	146,105	373,168
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,606	△397
親会社株主に帰属する四半期純利益	144,499	373,566

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	146,105	373,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△217	△444
為替換算調整勘定	△6,185	△170
その他の包括利益合計	△6,402	△615
四半期包括利益	139,703	372,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,096	372,950
非支配株主に係る四半期包括利益	1,606	△397

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、ストックオプションの行使による新株式発行239,700株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ43,697千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が341,263千円、資本剰余金が551,658千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	セールス& プロモーション 事業	リサーチ& コンサル 事業	ASP事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,402,201	612,936	39,243	1,110,824	5,165,206	—	5,165,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,176	1,230	—	12,918	24,324	△24,324	—
計	3,412,377	614,166	39,243	1,123,743	5,189,530	△24,324	5,165,206
セグメント利益 又は損失(△)	453,895	245,925	32,578	△65,970	666,428	△489,308	177,120

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△489,308千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「和菓子製造販売事業」のセグメント資産が前連結会計年度の末日に比べ869,319千円減少しております。これは主に、第1四半期連結会計期間において行った「和菓子製造販売事業」を構成する(株)十勝たちばなの旧本社及び旧本社工場を売却したこと等による固定資産の減少によるものであります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失への影響額は軽微であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	セールス& プロモーション 事業	リサーチ& コンサル 事業	ASP事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,111,204	595,262	35,885	702,422	4,444,775	—	4,444,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,969	1,483	—	12,340	21,793	△21,793	—
計	3,119,174	596,745	35,885	714,763	4,466,568	△21,793	4,444,775
セグメント利益 又は損失(△)	392,346	195,972	30,949	△10,143	609,124	△484,282	124,842

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△484,282千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、「和菓子製造販売事業」を構成していた株式会社十勝たちばなの全株式を売却し連結の範囲から除外したことにより前連結会計年度の末日に比べ「和菓子製造販売事業」のセグメント資産が1,601,617千円減少しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「営業支援事業」と表示していたセグメントの名称を「セールス&プロモーション事業」に、「流通支援事業」と表示していたセグメントの名称を「リサーチ&コンサル事業」に変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。